笑顔あふれる明るいまちに！

10人の議員が一般質問

質問は3月3日、4日、5日の3日間で行われました。
（質問の順序は抽選で決められ、その順に各議員から提出された要約原稿のとおり掲載しています。）

問 市民に有効な公共交通を
答 検証委員会で協議する

次田典子 議員（無会派）

❶2年の協議を経てようやくバス網が改善される。京阪バスと奈良交通に多額の助成をする以上、今後も厳しく検証してほしい。

安心まちづくり室長 2010年度発足の検証委員会で費用対効果を踏まえ、より市民のニーズに適したバスサービスについて協議していく。

❷市教委の取り組みの遅れから普賢寺小校区のスクールバス廃止への理解を未だ得られていない。代わりの路線バス充実に市は補助金を予算化しているが、スクールバスを残せば税金の二重投資になってしまう。このような事態は避けるべきだ。

教育部長 将来を見据え打田、高船に公共交通体系を維持するためには通園・通学に路線バスを利用してほしい。4月からのスクールバス廃止に向け、保護者説明会を開き協議しているところだ。

❸高齢者や障がい者が町に出やすくするためにもバス運賃などの補助をすべきだと思うがどうか。

保健福祉部長 老人福祉センターの送迎バス廃止に伴いバスを利用してセンターに来られた方のバス運賃半額を補助する。

❹女性の貧困について市長の認識を問う。会社が家族手当を負担して来た日本型の福祉構造は終わりを告げ、公的資金の役割が大きくなってきている。未だ女性の雇用や労働環境は改善されず、多くの女性がパートで働くことを余儀なくされている。京都府も2011年度に改定される男女共同参画基本条例で女性の貧困を盛り込むと聞くが市長の考えはどうか。

市長 昨今の景気の悪化を受けて、女性を取り巻く環境は以前にも増して厳しくなっている。一層の環境整備が重要であると考える。

❺化学物質過敏症対策とし公的施設で香料禁止すべきだ。

総務部長 過敏症に対する市民啓発に努めたい。

再編され便利になった市内路線バス

問 農業の所得・価格補償を
答 指定産地活性化計画を策定

井上薫 議員（共産党）

❶農業において戸別所得補償モデル対策が実施されるが、本市農業にどのような影響を及ぼすのか、また、市の対応は。

経済環境部長 今まで産地確立交付金として市町村段階で品目及び単価設定を行ってきたナスなどの特産物が、他の作物となり、交付金も一律10アール当たり1万円となり、助成金が減額されることを懸念している。このため従前の助成額が減少する影響を緩和するため、単価設定の弾力的運用などの激減緩和措置が講じられる予定であるが、その運用は国と府が協議されている状況である。その制度が明らかになった時点で対応を検討する。

❷自給率向上の環境整備を図るための水田農業経営助成に対する市の対応は。

経済環境部長 「生産数量目標」を達成した米の生産販売農家に対して、一律10アール当たり1万5000円の定額が助成されることとなっている。しかし、作付面積や販売量の小規模な農家が多い本市では、水田所得のいくぶんかの向上には繋がるものの、生産費のコスト割れを補うまでは至らないと考える。このため、本年度から実施している良質米出荷奨励事業を引き続き平成22年度も実施をしていく。

❸ナス等、特産物の育成をすすめよ。

経済環境部長 22年度に市とJA、生産者が一体となって野菜指定産地活性化計画を策定して、新規栽培者の掘り起こしとナス栽培面積の拡大を推進する。

なすの栽培風景（江津）

❹北部地域における保育所建設にかかる基準と保育ニーズに対応した整備を。

保健福祉部長 府で国の基準をベースにした条例になる。定員は240名程度で対応、年齢別の募集項目等については関係する法人と十分調整したい。

問 始発最終電車の京田辺駅まで延長を
答 要望活動を行っている

小林喜代司 議員（新栄会）

❶JR片町線の輸送力の増強は、木津駅までの複線電化が目標である。現在、片町線複線化促進期成同盟会を通じて沿線の各自治体が、運動を進められているが、松井山手駅、木津駅間は単線のままでの輸送力増強である。現在の京田辺駅の一日の乗降客が1万3000人を超え、市内のJRの駅では最も多いが、始発電車は5時48分発である。また、最終電車の京田辺駅着は23時48分である。現在、松井山手駅となっている始発や最終電車の京田辺駅まで延長を要望する声が非常に多いが、3月13日のダイヤ改正では実現しなかった。しかし、松井山手駅着の最終電車は到着後、京田辺駅までの回送車となり京田辺駅一番線に留め置きされる。また、反対に始発電車は京田辺駅三番線に留め置きされている電車を4時58分京田辺駅発の回送電車として松井山手駅まで回送されて、その電車が松井山手駅5時5分発の始発電車となっている。松井山手駅での始発、最終電車とも、松井山手駅、京田辺駅間は回送電車として運行されているのである。次回のJRのダイヤ改正時には、このことを理解の上、JRに強く要望していただき、多くの市民の要望に応えていく必要があると思うが市の考えは。

市長 JRへ長年要望していた、京田辺駅南側踏切の改良工事ができることになり、市民の安全も確保できる。今後もJRに対して、複線電化やダイヤ改正による輸送力の増強を要望していかなければならないと考えている。

安心まちづくり室長 片町線複線化促進期成同盟会を通じて、2月22日に木津駅までの複線化の早期実現と松井山手駅止まりの電車を木津方面までの延長を要望してきた。今後も、要望活動を行っていく。

終電延長が望まれるJR京田辺駅

議会日誌

【2月】
1日 広報編集特別委員会
長崎県大村市議会視察来庁
2日 議会改革・活性化特別委員会（16日）
京都府市議会議長会
3日 総務常任委員会
総務常任委員会研修会
4日 議会運営委員会（18日）
5日 文教福祉常任委員会
福島県福島市議会視察来庁
福祉常任委員会・協議会
8日 議会研修会
9日 総務常任委員会（26日）
15日 第1回定例会議案上程
19日 総務常任委員会
22日 文教福祉常任委員会・協議会
24日 愛知県岡崎市議会視察来庁
京都府議会・市町村議会正副議長合同研修会
25日 建設経済常任委員協議会

【3月】
1日 第1回定例会
議会改革・活性化特別委員会（25日）
2日 第1回定例会代表質問
3日 第1回定例会一般質問
4日 第1回定例会一般質問
5日 総務常任委員会・協議会
8日 建設経済常任委員会・協議会
9日 文教福祉常任委員会
10日 予算特別委員会（12、15、16、17、18、23日）
11日 総務常任委員会
19日 議会運営委員会（26日）
24日 議会全員協議会
26日 第1回定例会議案採決

【4月】
8日 幹事会
9日 広報編集特別委員会
13日 議会改革・活性化特別委員会（16、23、30日）
20日 近畿市議会議長会（21、27日）

（以上主なもの）